令和７年度　池上第二小学校　研究構想図

学校教育目標

◎よく考える子

○思いやりのある子

○元気な子

区独自教科の取組の目標

○変化の激しい社会に対応することができるこどもの育成

○おおた教育ビジョン

（予想困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します）

○STEAM 教育等の教科横断的な学習の推進

【本校の児童の課題】

○自分や他者にはよいところがあると理解している姿は見られるが、そのよさを生かして主体的に取り組んだり、自分の考えを表現したりしようとする姿は少ない。

○難しい課題に直面したときにあきらめてしまい、解決への方策を生み出すことが難しい。

【研究主題】

「対話・協働・創造を通して自己実現を図る児童の育成」

～教科「おおたの未来づくり」に係る教科等横断的な授業実践を通して～

【研究仮説】

○下学年のころから、地域の人・もの・場所に多面的・多角的に関わり地域のよさに気付くことで、地域の課題を解決するために最後まで粘り強く取り組むことができるようになるだろう。

○協働的な学びを通して自分や他者のよさに気付き伝え合うことで、自分の考えに自信をもつことができ、すすんで表現することができるようになるだろう。

【目指す児童像】

低学年　：身近な人と関わりながら、自分の思いや考えを表現しようとする子

中学年　：自分や他者のよさを気付き、人・もの・ことにすすんで関わったり、自分の思いや考えを表現したりしようとする子

高学年　：自分や他者のよさを生かしながら、最後まで粘り強く取り組んだり、自分の考えをすすんで表現したりしようとする子

特別支援：身近な人やものと関わることを楽しむとともに、それらのよさを受け入れながら、創り出そうとする子

【研究主題に迫るための手立て】

①単元導入の工夫　②学習の展開の工夫　③話し合いの場の工夫　④ICT の活用